

みんなの地域だより



◆問い合わせ 生涯学習課
公民館・スポーツ係
(☎ 44-5110)

手づくりの門松を設置

こがねが丘大学園芸講座

12月13日、高齢者を対象に学習の場として市民会館で行われている「こがねが丘大学園芸講座」の講師と受講生16人が門松を手づくりし、伊田の風治八幡宮と後藤寺の春日神社、市民会館正面玄関の3か所に設置しました。

この取り組みは、園芸講座のまとめとして平成14年から始めており、今年で10年目になります。受講生たちは役割を分担しながら次々と組み立て作業や飾り付けなどを行っており、みるみるうちに立派な門松が姿を現しました。

園芸講座の講師を務めている加来浅夫さんは「準備作業と大変でしたが、みなさんの健康と幸福を願って設置しました」と話しました。



▲全員で協力して、門松をつくり上げていきました



▲よいしょ、よいしょと力を込めて餅をつきました



ふくし餅つき大会

鎮西校区

12月15日、鎮西小学校でふくし餅つき大会が行われ、子どもからお年寄りまで約130人が参加しました。

参加した子どもたちは、保護者などにコツを教えてもらいながら、重たいきねを力強く振り下ろして餅をつきました。つきたての餅は、すぐに体育館の中に運ばれると、待ち構えていた人たちの手で次々と丸められ、たくさんの丸餅が机の上に並べられていきました。

大会終了後には、この日つくられた丸餅が参加者全員にふるまわれました。参加者からは「今年もこれで1年が終わる」などの感想が聞かれ、年末の伝統行事を十分に楽しんだ様子でした。



人権・同和教育学習会

削田校区活性化協議会

12月18日、上削田公民館で削田校区活性化協議会(岩崎太郎会長)の主催により、元小中学校長の吉柳啓二さん(削田校区在住)を講師に招いた「人権・同和教育学習会」が行われ、校区住民など約80人が参加しました。

吉柳さんは「私が同和教育から学んだこと」と題し、小中学校の教員として学んできたことなどを詳しく説明。参加者は、吉柳さんの話に真剣に耳を傾け「大変わかりやすく、ためになった」など感想を話していました。

岩崎会長は「この学習会は、人権・同和教育について、広く校区のみなさんに知っていただくよい機会であり、毎年開催しています。これからも続けていきたい」と話しました。



▲問題の解決には地域の力が必要と訴える吉柳さん